

令和 4 年度
校下・地区町会連合会
各種団体負担金等調査報告書

資料 1 分析資料

資料 2 分析基礎資料

令和 5 年 6 月
金沢市町会連合会

令和4年度各種団体負担金等調査報告

はじめに

今回の調査につきましては、担当された皆様方には、大変ご苦勞をおかけしました。お詫びいたしますとともに感謝申し上げます。予めお断りしておきますが、調査項目において未記入の欄などがあり、EXCELで集計する上、“0”の表示をしましたのでご理解ください。

以下、質問項目ごとに報告しますが、詳細につきましては、分析資料と分析基礎資料をご参照ください。校下連合会、地区連合会を「校下」として統一表示しましたので、ご了承ください。

文責 副会長 甚田和幸

1 各校下・地区町会連合会の加入対象戸数と加入戸数、加入率について

・加入対象戸数については、8,000戸以上は、大徳校下で11,772戸が最高であり、次に米丸校下の7,034戸、6,000戸台は伏見台と三馬校下であり、中間クラスは、2,000戸以上4,000戸未満の地区で24校下あり、39%をしめている。

一方、500戸未満は、5校下で、俵、医王山、東浅川、内川、湯涌など山間部に集中している。

未回答・未記入校下は17校下あった。

・町会加入戸数については、大徳校下の7,240戸、戸板校下5,748戸、三馬、米丸校下が4,200から4,300戸となっている。1,000～3,000戸の34校下で54,8%を占めている。500戸未満は6校下、俵、医王山、内川、東浅川、湯涌、三谷となっている。

・加入率については、100%は湖南、森本、医王山、湯涌などの12校下、90%台は、薬師谷、押野、東浅川、西南部などの14校下、50%から90%未満は、新神田、芳斉など19校下、不明が17校下あった。

2 各校下・地区町会連合会の運営費、1戸当たり負担金について

・各校下・地区町会連合会の運営費の予算額は、900万円以上が栗崎、崎浦、菊川で、700万円から800万円未満が伏見台であった。200万円以上から300万円未満が、材木、中村町、田上など11校下、100万円以上200万円未満が諸江、湖南、芳斉など12校下、50万円から100万円未満が浅野町、野町など12校下、50万円未満が、薬師谷、十一屋、医王山、味噌蔵の4校下であった。

・運営費の1戸当たりの負担額は、1万円以上3万円未満が湯涌、7000円～8000円未満は、大野町、内川の2校下、6,000円から7,000円未満は栗崎、一番多いクラスは、1000円から2000円未満で森本、瓢箪、伏見台など20校下、逆に、一番少ない100円から200円未満が、十一屋、味噌蔵の2校下、200円以上300円未満が小坂、諸江、富樫の3校下であった。ただし、この金額は、運営費を加入戸数で割り返したものだが、校下によっては、端数の調整をしたり、別途算出によって回答しているところもある。

3 各種団体分担金について

① 地区公民館

・62校下中、最高額は戸板校下で540万円、田上の404万円、伏見台の388万円と続き、最少額は川北の11.3万円で、一番多い層は、100万円から200万円未満の27校下、200万円から300万円未満の13校下であり、未記入が3校下、0円が5校下、その他1校下で、公民館負担額の合計は、110,127,816円であった。

② 社会福祉協議会(社協)

・62校下中、最高額は伏見台校下で200.3万円、安原の159万円、新堅町の117万円と続き、最少額は湖南校下の2.7万円で、一番多い層は、20万円から30万円未満の6校下、10万円から20万円未満の5校下であり、未記入が3校下、0円が22校下、その他1校下で、地区社協負担額の合計は、18,261,630円であった。

③ 消防分団

・62校下中、最高額は田上校下で323万円、材木の181万円、菊川の165万円と続き、最少額は四十万の16.7万円で、一番多い層は、50万円から60万円未満の7校下、60万円から70万円未満の7校下、100万円から150万円未満の7校下であり、未記入が3校下、0円が9校下、その他2校下で、消防分団負担額の合計は、37,726,355円であった。

④ 婦人会

・62校下中、最高額は大徳校下で65万円、鞍月の39万円、千坂の34万円と続き、最少額は押野校下の1万円で、一番多い層は、5万円から10万円未満の10校下、10万円から20万円未満の7校下であり、未記入が3校下、0円が27校下で、婦人会負担額の合計は、4,429,900円であった。

⑤ 老人会

・62校下中、最高額は三馬校下で35万円、栗崎の30万円、中村町の15万円と続き、最少額は馬場校下の2万円で、一番多い層は、10万円未満の15校下、10万円から20万円未満の8校下であり、未記入が3校下、0円が33校下で、老人会負担額の合計は、2,430,480円であった。

⑥ 子ども会

・62校下中、最高額は千坂校下で89万円、浅野町の57万円、伏見台の49万円と続き、最少額は長坂台校下の3万円で、一番多い層は、10万円未満の13校下、10万円から20万円未満の10校下であり、未記入が3校下、0円が25校下で、子ども会負担額の合計は、6,286,555円であった。

⑦ 防犯委員会

・62校下中、最高額は大徳校下で60万円、浅野町の43万円(交通安全と折半)、富樫の42万円と続き、最少額は栗崎校下の1万円で、一番多い層は、10万円未満の18校下、10万円から20万円未満の16校下であり、未記入が3校下、0円が8校下、その他3校下で、防犯委員会負担額の合計は、7,469,774円であった。

⑧ 交通安全推進協議会

・62校下中、最高額は大徳校下で70万円、伏見台の65.4万円、栗崎の65万円と続き、最少額は馬場校下の1.5万円で、一番多い層は、10万円未満の22校下、10万円から20万円未満の12校下であり、未記入が3校下、0円が10校下、その他3校下で、交通安全推進協議会負担額の合計は、8,263,223円であった。

⑨ 保護司

・62校下中、最高額は戸板校下で18.2万円、安原の15.3万円、大徳の13万円と続き、最少額は湯涌、東浅川の2千円で、一番多い層は、10万円未満の37校下、未記入が3校下、0円が16校下、その他3校下で、保護司負担額の合計は、1,871,100円であった。

⑩ 自主防災会

・62校下中、最高額は千坂校下で60万円、大徳の50万円、弥生の35.2万円と続き、最少額は中村町、浅野川、内川校下の3万円で、一番多い層は、10万円未満の10校下、10万円から20万円未満の9校下であり、未記入が3校下、0円が26校下、その他4校下で、自主防災会負担額の合計は、4,920,280円であった。その他としては、必要経費を支給、別途支給と回答があった。

⑪ 共同募金

・62校下中、最高額は湖南校下で55万円、森山の54.3万円、十一屋の39.2万円と続き、最少額は湯涌の1.2万円で、一番多い層は、10万円未満の5校下と30万円から40万円未満の5校下であり、未記入が3校下、0円が42校下、その他1校下で、共同募金負担額の合計は、3,963,510円であった。

⑫ 各種団体分担金のその他について

・62校下中、最高額は栗崎校下で244万円、三馬の236万円、戸板の221万円と続き、最少額は三和、富樫校下の3万円で、一番多い層は、10万円未満の10校下と10万円から20万円未満の10校下であり、未記入が3校下、0円が10校下、その他1校下で、その他の負担額の合計は、25,372,051円であった。

その他の団体には、子ども見守り隊、身体障害者団体、更生保護、児童館、健全育成、伝統芸能等、校下の特色により諸団体に負担金を支出している。

⑬ 各種団体分担金総額

・62校下中、最高額は戸板校下で939万円、栗崎の847万円、千坂の830万円と続き、最少額は森本の12万円で、一番多い層は、300万円から400万円未満の13校下、200万円から300万円未満の11校下であり、未記入が3校下、その他1校下で、その他の負担額の合計は、231,122,674円であった。

4 校下・地区町会連合会地内の集合住宅(賃貸)について

この調査項目は、半数以上の校下が未記入や不明と回答している。

① 地区内の集合住宅棟数について【A】

・62校下中、棟数の一番多い校下は、560棟の崎浦校下、扇台の307棟、三馬の280棟の順で50棟から100棟が5校下、100棟から150棟が5校下、最小は、俵校下の1棟であり、半数以上の33校下は、不明・未記入であった。

② 地区内の集合住宅戸数について【B】

・62校下中、戸数の一番多い校下は、西校下の2,307戸、崎浦の2,263戸、鞍月の2,152戸の順で1,000戸から1,500棟が6校下、1,500戸から2,000戸未満が4校下、最小は、俵校下の2戸であり、半数以上の38校下は、不明・未記入であった

③ A の集合住宅棟数における町会加入棟数について【C】

・62 校下中、棟数の一番多い校下は、518 棟の崎浦校下、扇台の 288 棟、小坂の 230 棟の順で 50 棟から 100 棟が 6 校下、100 棟から 150 棟が 5 校下、最小は、長土堀校下の 1 棟であり、半数以上の 38 校下は、不明・未記入であった。

④ B の集合住宅戸数における町会加入戸数について【D】

・62 校下中、戸数の一番多い校下は、戸板校下の 3,206 戸、十一屋の 1,550 戸、西の 1,516 戸の順で、500 戸から 800 戸が 7 校下、200 戸から 500 戸未満が 6 校下、最小は、俵校下の 2 戸であり、半数以上の 35 校下は、不明・未記入であった

⑤ 加入率について(④÷②)

・62 校下中、加入率 100%の校下は、十一屋、三和、俵の 3 校下、99%の浅野川校下、93%の安原、犀川校下の順で、60%から 70%の校下が 6 校下と最も多く、加入率の低い校下は、鞍月校下の 14%であり、半数以上の 37 校下は、不明・未記入であった。

4-2 校下・地区町会連合会地内の集合住宅における公営住宅について

この調査項目は、公営住宅そのものが無い校下が多い。

① 地区内の集合住宅棟数における公営住宅の棟数について【E】

・62 校下中、棟数の一番多い校下は、82 棟の十一屋校下、扇台の 44 棟、安原の 37 棟の順で 1 棟から 5 棟が 7 校下、5 棟から 10 棟が 5 校下で、43 校下は、不明・未記入もしくは公営集宅がない校下であった。

② 地区内の集合住宅戸数における公営住宅の戸数について【F】

・62 校下中、戸数の一番多い校下は、十一屋校下の 1,550 戸、扇台の 771 戸、安原の 765 戸の順で 100 戸から 200 戸が 4 校下で、一番少ない戸数は小坂の 14 戸であり、46 校下は、不明・未記入もしくは公営集宅がない校下であった。

③ E の公営住宅棟数における町会加入棟数について【G】

・62 校下中、棟数の一番多い校下は、82 棟の十一屋校下、扇台の 44 棟、安原の 37 棟の順で 1 棟から 5 棟が 6 校下、5 棟から 10 棟が 4 校下であり、半数以上の 45 校下は、不明・未記入もしくは公営集宅がない校下であった。

④ Fの集合住宅戸数における町会加入戸数について【H】

・62校下中、戸数の一番多い校下は、十一屋校下の1,550戸、安原の765戸、扇台の643戸の順で100戸から200戸が4校下、50戸から80戸が3校下、最小は、小坂校下の14戸であり、半数以上の47校下は、不明・未記入もしくは公営集宅がない校下であった。

5 校下・地区町会連合会地内の町会未結成の団地やマンションについて

・未結成の団地やマンションについては、24校下があると回答した。

区 分	校下数
あ り	24
な し	38
合 計	62

6 校下・地区町会連合会地内の女性町会長について

・女性会長がいると回答した校下は、33校下であった。内訳は、次のとおり。

区 分	校下数	女性会長数	校下数	備 考
います	33	1名	19	弥生、三和、額、扇台、森本他
いません	29	2名	8	野町、泉野、金石、東浅川他
合 計	62	3名	4	此花。崎浦、三馬、新神田
		4名	1	新堅町
		5名	1	芳斉

7 校下・地区町会連合会地内の事務職員について

- ・事務職員に対して報酬を出している校下は、49 校下であった。

区 分	校下数
報酬を支給している	49
報酬を支給していない	13
未記入・未回答	0
合 計	62

- ・事務担当者は、

主 事	29	主事、主事補とも担当の 校下は 12 校下
主事補	37	
その他	12	主事とその他の担当 22 校下
合 計	78	3 人とも担当は 1 校下

- ・報酬の取決めについて

取決めあり	36	校下・地区
取決めなし	21	校下・地区
未記入	2	校下・地区
職務に含まれる	1	校下・地区
時間外手当	2	校下・地区
合計	62	

8 校下・地区町会連合会地内の資源回収奨励金の取り扱いについて

- ・連合会の財源としている校下は、37 校下。(複数回答あり)

回答区分	校下数	備 考
① 連合会の財源にしている	37	野町、泉野、松ヶ枝、夕日寺、川北他
② ○○の財源にしている	13	長坂台、長町、此花、小坂、米丸、小立野他
③ ○○の積立している	5	芳斉、千坂、二塚、俵、森本
④ その他	14	材木、長土堀、浅野町、森山、栗崎他
合 計		

- ②の○○の財源にという校下では、以下の団体の財源に充当している。

- ・自主防災会(長坂台、味噌蔵、長田町)
- ・少年連盟(長町、額)
- ・女性会(此花、川北、額)
- ・各種団体連絡協議会(小坂)

- ・各町会(鞍月、米丸、安原、小立野)
- ・中学校 PTA、小学校 PTA(額)
- ・公民館(長田町、犀川)

③の〇〇の積立にしているという校下では、以下の積立に充当している。

- ・公民館、児童館の建替え(芳斉)
- ・災害時緊急対応(千坂)
- ・町会、住民に還元のため(二塚)
- ・雑収入(俵)
- ・消防ポンプ車更新費用(森本)

④のその他という校下では、以下の事業等に充当している。

- ・防災、福祉などに充当の他、災害対策救援基金として積立(材木)
- ・ごみ収集に関する看板製作費(長土堀)
- ・災害時支援金(浅野町)
- ・連合会と女性会の財源(森山)
- ・町会連合会特別会計に充当(千坂)
- ・各町会に還元(栗崎、大浦、西南部、三和、三馬、伏見台、崎浦)
- ・自主防災会備品購入、公民館運動会や文化祭(長田町)
- ・指定ごみ袋を町民に配布(大野町)

②と④で町会に還元している校下が 11 校下あった。

9 校下・地区町会連合会地内の空家について

- ・空家については、半数以上の校下は把握していない。詳細は、さらに調査必要。

空家がある	24	校下・地区	⇒	報告空家総数	1,824
不明	38	校下・地区			
合計	62				

10 結ネットについて

- ・結ネットについては、半数以上の校下が加入している。

未加入の理由	加入済み	35	校下・地区
	加入していない	25	校下・地区
	未回答	2	
	合計	62	

結ネットを入れる体制にはない	1
高齢者が多く難しい	3
取り組もうというものが少なく、このままでいい	2
全町会長のネット端末の不備	1
LINE を活用している	3
HP と携帯電話を活用している	1
時期尚早	2
発信者がいない	1
1 年間試行したが効果なし	1
各町会の賛同を得ていない	1
活用する機会がないと判断	2
有料のメリットなし	1
公民館 LINE を使用	1
各町会の判断	1
財源がない	1
検討中	1
理由未記入	2
合計	25